

通信

喜多浩一

き た こう いち

Vol.31 発行・喜多浩一

金沢市議会議員3期目も折返しを過ぎて

平成23年4月に金沢市議会議員の議席をいただいてから10年が過ぎ、任期3期目も折返しを過ぎました。これまで多くの方々から温かいご支援、ご指導をいただいていたことを改めて感謝申し上げます。昨年から今年にかけては、新型コロナウイルスの影響で外出や人との交流が制限されたこともあり、お世話いただいている多くの方々にご挨拶できていません。今後は感染状況を考慮しながらとなりますが、意見交換や懇談の場をできるだけ作っていただければと考えています。私自身は、金沢市役所6、7階の議会フロアにいますので、いつでもお気軽にお越しください。

我々が新型コロナウイルスに悩まされ始めてから、1年半が過ぎました。その間、緊急事態宣言なども何度も出され、日常生活そのものが大きく変化しました。ビジネスの世界においては、営業の自粛を迫られた飲食店を中心に、サービス業など幅広い業種に計り知れない影響がありました。また、学校が強制的に休みになったり、運動会や修学旅行なども中止になるなど、子供たちには多くの残念な思いをさせましたし、ご高齢の方々には、ワクチン接種の予約等において大変なご迷惑をおかけしました。ご協力いただいた全ての市民の皆様にお詫びと感謝を申し上げます。

世界はアフターコロナの時代に向けて既に動き出しています。我々日本も金沢も、前進していかなければなりません。デジタル社会の到来を受け、金沢市も市民の利便性向上に積極的に取り組んでいる所ですが、行き届かない点が多々あると思います。是非とも市民の皆様からのご意見をお待ちしております。

最後になりますが、例えワクチン接種が完了した後でもインフルエンザ同様、感染リスクが完全になくなるわけではありません。一人一人がマスクや消毒などの感染対策をできる限り行っていただくことをお願い申し上げます。

バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。(喜多浩一)

<http://kita-koichi.com>



議会活動 PHOTO



①西町教育研修館
柳宗理デザインミュージアム(仮称)に生まれ変わります。



②街頭演説
毎月1日広坂交差点にて。もう5年ほど続けています。



③馳ひろし氏と自宅にて
星稜中の時、馳先生には厳しく教えていただきました。その当時は本当に怖い先生でした!



④市長室訪問
市長との直接の意見交換を通して、市民の皆さんの声を市に届けます。



⑤城北児童会館
開館40周年。小学生の時、会館初日(昭和56年5月4日)に来たのを今でも鮮明に覚えています。

喜多浩一 プロフィール

昭和45年5月 野町に生まれる
52年3月 藤蔭幼稚園卒
58年3月 森山町小学校卒
(金沢東警察署で少年剣道)
61年3月 星稜中学校卒
(剣道部主将)
平成元年3月 金沢泉丘高校卒
(剣道部主将)
9年3月 早稲田大学卒
9年4月 今村証券株式会社入社
23年1月 // 退社

平成23年4月 金沢市議会議員選挙に初当選
27年4月 金沢市議選挙で2期目の当選
31年4月 金沢市議選挙で3期目の当選
令和2年3月 第123代金沢市議会副議長に就任(同年9月退任)
金沢市泉本町に在住
資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士
家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ→金沢泉丘高校野球部)、次男

ご意見などございましたらお気軽に・・・

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
金沢市役所7F
会派控室
まで



ツイッター・フェイスブックで情報を発信しています。ぜひアクセスをお願いします!

◀ 令和3年6月市議会定例会での主な一般質問と答弁の要約 ▶

北陸鉄道について

(喜多浩一)

北陸鉄道の決算が今までにないほど厳しい状況となっています。国土交通省が推奨する地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会の設置や地域公共交通計画の策定の検討などについて、社長と意見交換すべきと考えます。今後の公共交通確保に向けた危機管理について市長はいかがお考えかお答え願います。

(山野市長)

コロナ禍において公共交通利用者が減少し、苦境にあります。社長とは意見交換しながら、国が推奨する地域公共交通計画の策定に向けて、関係者とともに必要な取り組みを行おうと考えています。

都ホテル跡地について

(喜多浩一)

都ホテル跡地は、営業終了から4年以上が経過していますが、いまだに活用策が決まっていないと聞いています。金沢を訪れる方が最初に目にする駅前の1等地を、好条件でまちづくりに生かすためにも、香林坊の日銀跡地の活用などを含めた総合的なまちづくりビジョンの取りまとめが必要不可欠であると考えます。所有者である近鉄の現状や本市経済界の状況を鑑み、山野市長の考えをお聞かせ願います。

(山野市長)

コロナ禍で近鉄も厳しい状況と聞いています。開発の方向性を示してもらえるよう働きかけを続けるとともに、近鉄とは情報共有に努め、市としてできる限りのことに取り組んでいきたいと考えています。

国民文化祭について

(喜多浩一)

2023年秋に開催予定の国民文化祭に向けて、どのような取り組みを行う予定なのか、具体的にお答え願います。

(山野市長)

国民文化祭については、1992年以来2回目の開催となります。新幹線敦賀開業を間近に控えた時期でもあるので、同時開催となる全国障害者芸術文化祭と合わせ、改めて本市の豊かな文化を再認識し、広く発信する機会とする他、誰もが文化を創造し、参加できる大会にしていきたいと考えています。

県市連携について

(喜多浩一)

コロナ対策においては、各自治体のトップの役割がクローズアップされました。県庁所在地のトップとして谷本知事との連携がしっかり取れてきたとお考えか、お答え願います。

(山野市長)

感染症や感染者情報については県に一元化してきたが、それ以外については市が発信してきました。また、オンラインでも谷本知事や県内各市長、町長とも意見交換会を行ってきました。引き続き、連携を密にしていきたいと考えています。

こまちなみ保存区域について

(喜多浩一)

「こんな町が残っていたのか」と思うような歴史的景観を残す区域を「こまちなみ保存区域」と指定していますが、2002年の金石区域以来、新規の指定がなされていません。新たな指定に向けて検討がなされているのかお聞かせ願います。

(山野市長)

市内には金沢の歴史文化を感じさせる通りが多く残っており、保存や活用を進める必要があると考えています。今後、地元の意向を把握しながら検討していきたいと考えています。

ユネスコ世界文化遺産登録について

(喜多浩一)

「城下町金沢」のユネスコ世界文化遺産登録に向けた運動を再び活性化すべきと考えますが、市長の考えをお答え願います。

(山野市長)

2007年度に行った市の提案に対し、文化庁から文化財指定を進めるべきとの指摘を受けました。当時と比べても文化財指定は12件増えており、県歴史文化会議と連携して取り組んでいきたいと考えています。

